

プログラム

2022/05/21版

プログラムの概要

本大会のプログラムは大きく分け、以下の7つで構成しています。

1. 共通プログラム

(1) ジャンボリー日本一プログラム（略：日本一）全国のサテライト会場及びジャンボリー・サマー会場において、ジャンボリー期間中に3種のスカウトスキルを同じルールで競って日本一を決めます。

(2) 信仰奨励

信仰奨励のつどいを開催します。信仰奨励のつどいは、教宗派を超えたつどいに積極的に参加して、信仰心を深めます。信仰奨励課目「教導職から信仰や宗教についての話」を聞く等の履修となります。

また、ジャンボリー期間中、各隊において、時間や場所、回数に捕らわれずスカウトによるスカウトのためのスカウトズオウンを実施してください。

(3) SDGs プログラム（略：SDGs）

オンラインの事前学習を受けて、SDGs について基本的な知識を知る事が出来ます。

班でSDGs の目標を選び、ジャンボリー期間中に、チャレンジします。キャンプ生活で取り組めることがあれば、積極的にチャレンジしてください。

ソーラークッカー、温水器制作、心肺蘇生法とAEDなどのプログラムを検討中

2. サテライトプログラム

(4) 全体行事

参加者が一堂に会し、開会式・ジャンボリー大集会・閉会式を実施します。また、期間中の毎朝、国旗掲揚セレモニー及び8月7日、8日の19時から野外ステージにおいてスカウトフェスティバルを実施します。

(5) 場内プログラム（略：場内プロ）

ジャンボリー会場内で挑戦するプログラムです。基本は班単位で参加します。すべてのプログラムに挑戦してください。

(6) 場外プログラム（略：場外プロ）

場外プログラムは、3コースのハイキング、2種目の水プログラムで構成されます。参加スカウトはこの中から班単位で1つ選択します。

(7) ビーバー・カブデイプログラム（略：BVS・CSプロ）

ビーバー・カブデイ（8月9日）に来場したビーバーとカブスカウトが、各地区で用意したプログラムに挑戦します。自分の所属地区に関係なくすべての地区のプログラムに挑戦してください。

プログラムの日程

	8月6日(土)	8月7日(日)	8月8日(月)	8月9日(火)	8月10日(水)
朝		国旗掲揚 セレモニー 8:15～	国旗掲揚 セレモニー 8:15～	国旗掲揚 セレモニー 8:15～	国旗掲揚 セレモニー 8:15～
午前 9:00～ 12:00		・場内プロ ・場外プロ ・日本一	・場内プロ ・場外プロ ・日本一	信仰奨励の つどい ・BVS・CS プロ	
午後 13:00～ 16:00		・場内プロ ・場外プロ ・日本一	・場内プロ ・場外プロ ・日本一	・場内プロ ・日本一 ・BVS・CS プロ	
夜	開会式 19:00～20:00	スカウト フェスティバル 19:00～20:30	スカウト フェスティバル 19:00～20:30	ジャンボリー 大集会 19:00～20:30	閉会式 19:00～21:00

参加者数 ボーイスカウト：320名（40班） 、ベンチャースカウト：29名

◆ジャンボリー日本一プログラム

ジャンボリー日本一プログラムでは、スカウトスキルを用いた次の3種類の班対抗ゲームを行い、日本一を決めます。それぞれでの「日本一」となった班の班員全員に、日本連盟100周年式典で「ジャンボリー日本一記章」を授与します。

- ・わが旗かざし・班旗立て
- ・火を絶やすな・火おこし
- ・ジョン・ブラン・手旗信号リレー

※このプログラムは、予約制で日時が指定されます。

○共通ルール

- ・各プログラムとも参加は1回限りです。個人での参加ではなく班としてエントリーします。ジャンボリー参加申込時に、1～3希望日時を指定してエントリーしてください。
- ・参加単位は、BSの原隊「班」を原則とし、それぞれ5人～8人班で参加します。5人に満たない班は、他の班と合同で上記の人数班になるようにします。
- ・日本一プログラムの結果は、大会公式アプリにより、参加班がオンラインで入力します。入力の期間は、ジャンボリー期間中とします。オンラインで入力された各地の班の成績を大会本部で集計して、全国での順位を発表します。記録は日々更新され、ネット等を通じて随時記録を見る事が出来ます。

1. わが旗かざし「班旗立て」

場所：芝生広場

携行品：班旗、ハンマー

参加対象：BS

参加単位：5～8名の班（混成可）

所要時間：約40分（競技説明：5分、競技：25分、自立：15秒、片付け：10分）

内容：3本の棒を紐でつなぎ合わせる「班旗」を作って自立させる時間を競う競技

- ① 直径3～5cm、長さ1.5mの竹をつなぎ、ロープ同士をつなぎ、結びの種類は班で考える。
- ② 競技の時間は25分間、自立15秒以上、高さは3m以上とする。（満たなかった場合は失格）
- ③ 開始から自立15秒までの時間を競う。
- ④ 大会が用意するタコ糸を班旗の先端に取り付ける。（高さ3m以上を確認のため）

2. 火を絶やすな「火おこし」

場所：未定

携行品：（各自）軍手又は革手袋

（班）薪等（指定の袋に口を閉じて入るだけ）、焚き付け（イージージッパーLサイズ 縦：約279mm、横：約268mm に口を閉めて入るだけ）、消火に必要な道具

※指定の袋は、62cm×48cm以下の土嚢袋

※薪は予め細薪、中薪、太薪を割ってくる。焚き付けは枯れた杉の葉や松ぼっくり等。

参加対象：B S

参加単位：5～8名の班（混成可）

所要時間：約45分（競技説明：5分、競技時間：25分、後片付け15分）

内容：与えられた資材と条件の中で、素早く火を起こし、炎で麻なわを焼き切る競技

- ② スタートの合図でかまどを作る（事前に研究しておくこと）
- ③ 一段目のブロックと網の間（網に接するまで）に薪組みを行う。競技中に薪を切る・割ることはできないこととする。
両端に石を結んだ麻なわをセットする。麻なわの長さは120cmとする。
- ④ マッチ2本以内で火をつけ、育て、上部に張った麻なわを焼き切る。（マッチ2本以内で火が付かない場合は失格）
うちわや火吹き筒等で空気を送ることは不可とし、着火したら自然に燃え上がるようにする。
- ⑤ スタートから麻なわが焼き切れ、2つの石が地面に落ちて着くまでの所要時間を競う。
- ⑥ スタートの合図から、麻なわを焼き切るまでの時間の制限時間は25分とし、この時間内に麻なわが焼き切れなかった場合は失格とする。

3. ジョン・ブラン「手旗信号リレー」

場所：未定

携行品：手旗(各自)、筆記用具

参加対象：B S

参加単位：5～8名の班（混成可）

所要時間：約40分（競技説明：5分、競技時間：30分、後片付け等10分）

内容：伝文を手旗信号の受信と送信を駆使してゴールのスカウトに送り届ける競技

- ① 4つのポイントに班のスカウトを配置する。（ゴールには2人以上配置する）
- ② スタートのスカウトに、問題カードを渡す。次のスカウトに向けその問題文を手旗信号で送る。
- ③ 同様に、次のスカウトに手旗信号で送信し、ゴールのスカウトまで順に伝言を送る。

- ④ ゴール地点のスカウトは、受信した問題を解き、その解答をスタート地点のスタッフに伝える。（受信内容を記入した解答用紙をスタッフに渡す。）
- ⑤ スタート地点のスタッフがスタート地点のスカウトに問題カードを渡した時点から、最終地点のスカウトがスタッフに解答用紙を渡すまでの所要時間を競う。（提出された回答が間違っていたら、1か所につき10秒が加算される。）
- ※最終地点のスカウトはすべてを受信しなくても「観察と推理」で解答を導き出すことも可能。

◆場内プログラム

1. 丸太スライスレースー1

場所：未定

携行品：のこぎり、皮の手袋（又は軍手）、タオル、水筒、雨具

参加対象：B S

参加単位：班（5～8名）

所要時間：約40分

内容：制限時間内(30分)に、班全員で協力して切り出した丸太の板の枚数を競う。

2. 丸太スライスー2

場所：未定

携行品：皮の手袋、タオル、水筒、雨具

参加対象：V S

参加単位：個人

所要時間：約40分

内容：チェーンソーを使い、班全員で協力して丸太を切り出して、「きこりのローソク」を作成する。（班で1つ作成する）

3. 竹材運びレース

場所：未定

携行品：腰ロープ

参加対象：B S、V S

参加単位：B Sは班（5～8名）、V Sは5～8名の仲間で参加

所要時間：約30分

内容：班全員で協力して、大量の竹材をロープのみを使って所定の場所まで運ぶタイムレース。

4. モンキーブリッジ作り

場所：未定

携行品：

参加対象：B S、V S

参加単位：班（5～8名）

内容：柱と柱の間に渡した2本のロープと、その下側に渡した1本のロープの間に、ハンガーロープを結んで吊っていくモンキーブリッジを作成する。参加スカウトは一定の時間作成を行い、続きの作成は次のスカウトが作成を行うといったリレー形式で作成を続けていく。作成に際して、2本のロープの上に安全のためのロープを1

本渡し、そのロープから作成するスカウトを吊って安全を図る。この安全ロープは、作成後、モンキーブリッジを渡る際にも利用する。

5. ツリーデッキ作り

場所：未定

携行品：軍手、タオル、水筒、雨具

参加対象：B S

参加単位：班（5～8名）

内容：複数の立ち木の上に、丸太を使って骨組みを作成し、その上に平板を取り付けてデッキを作る。

6. 信号搭づくり

場所：未定

携行品：軍手、タオル、水筒、雨具

参加対象：V S

参加単位：個人

所要時間：約2時間

内容：丸太とロープを使い信号搭を作る。

7. ボルダリング

場所：未定

携行品：軍手、タオル、水筒、雨具

参加対象：B S、V S

参加単位：B Sは班（5～8名）、V Sは個人

内容：高さ3.6mの人口の壁につけられたホールドを手掛かりにルートを探し出し、ゴールを目指す。

8. ジップライン

場所：未定

携行品：軍手、タオル、水筒、雨具

参加対象：B S、V S

参加単位：B Sは班（5～8名）、V Sは個人

内容：木々の間に張られたワイヤーロープをプーリーと呼ばれる滑車を使って滑り降りるアクティビティ

9. スラックライン

場所：未定

携行品：軍手、タオル、水筒、雨具

参加対象：B S、V S

参加単位：B Sは班（5～8名）、V Sは個人

内容：支点2か所の上に伸縮性のあるベルトを張り、綱渡りの要領で乗りこなすアクティビティ

10. 場内ハイキング

集合場所：未定

携行品：腰ロープ、軍手、タオル、水筒、雨具

参加対象：B S

参加単位：B Sは班（5～8名）

所要時間：約1時間

内容：会場内の周辺に配置されたポイントをめぐるハイキングコースに挑戦する。（さわがに沢コースを利用し、簡易測量、観察などのポイントでの課題に挑戦する）

1 1. アマチュア無線体験

場所：未定

携行品：筆記用具、持っている人は無線従事者免許証

参加対象：B S

参加単位：B Sは班（5～8名）、V Sは個人

内容：無線機を用いて、国内外のアマチュア局と交信を体験する。

1 2. ナイフ工房（関の刃物職人）

※このプログラムは有料となります。（スカウトは3,000円を予定）

挑戦できる日時や人数に制限があります。申込み等後日連絡します。

場所：未定

携行品：筆記用具、軍手、タオル、帽子

参加対象：B S

内容：カスタムナイフの組み立て、製作する。

※指導者は5,000円を予定

◆場外プログラム

場外プログラムは、8月7日（日）、8日（月）の午前と午後の4回に分けて実施します。ボーイスカウトは参加単位を班（5～8名）とし、プログラム毎の各回の定員は以下とします。ベンチャースカウトは個人単位での参加とし、定員は別途定めます。

	1.山中城	2.鎌倉殿	3.水辺めぐり	4.1 カヌー	4.2 ボート
8月7日午前	16	16	16	16	16
8月7日午後	16	16	16	16	16
8月8日午前	16	16	16	16	16
8月8日午後	16	16	16	16	16

各班、第3希望まで申請し、第1希望から順に予約制としますが、定員を超えた場合は、抽選とします。

1. 山中城址ハイキング

場所：会場出発 → 山中城址 → 会場

携行品：水筒、雨具、タオル

参加対象：B S

参加単位：班（5～8名）

所要時間：約3時間

費用：なし

内容：会場を出発し、ポイントをめぐるコースを歩く。途中山中城址を経由して会場まで戻る約8.5kmのハイキングを行う。その間、課題の調査、野帳記入と地図作成を行う。

2. 鎌倉殿を訪ねて

場所：三島駅出発（三島駅まではバスで移動）

携行品：水筒、雨具、タオル

参加対象：B S

参加単位：班（5～8名）

所要時間：約 3.5 時間

費用：会場／三島駅 往復バス代（約 1,000 円）

内容：鎌倉殿ゆかりの地をめぐるハイキングを行う。その間、課題の調査、野帳記入と地図作成を行う。

3. 源兵衛川と柿田川の水辺を巡るハイキング

場所：三島駅出発（三島駅まではバスで移動）

携行品：水筒、雨具、タオル

参加対象：B S

参加単位：班（5～8名）

所要時間：約 3.5 時間

費用：会場／三島駅 往復バス代（約 1,000 円）

内容：源兵衛川に沿って中郷温水池まで巡るハイキングを行う。その間、課題の調査、野帳記入と地図作成を行う。

4. カヌー・ボート体験

場所：大仁 大門橋付近 →川の駅伊豆（めんたいパーク西側）

携行品：着替え、かかとは固定できるサンダル又はスニーカー、替え靴、帽子、水筒、雨具、タオル

参加対象：B S、V S

参加単位：B Sは班（5～8名）、V Sは個人

所要時間：約 3.5 時間（バス移動時間含む）

費用：会場／カヌー・ボート乗艇場所・降艇場所 往復バス代（約 1,500 円）

内容：カヌー又はボートの漕艇及び狩野川を下る体験をする。

信仰奨励章

所属： _____ 第 _____ 団 _____ 隊

スカウト氏名： _____

	取得要件	合格年月日	認印
1	初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。	2022年8月9日	
2	隊集会やキャンプ・ハイキングでスカウトズタウン・サービスに参加する。（初級スカウト章課目 5. 信仰奨励と共通）	2022年8月9日	
3	スカウトズタウン・サービスで、自分ができる役割を果たし、ちかいとおきてを日常で実践したこと、感じたことを発表する。（2級スカウト章課目 5. 信仰奨励と共通）		
4	隊集会やキャンプ・ハイキングでのスカウトズタウン・サービスで主要な役割を果たす。（1級スカウト章課目 5. 信仰奨励と共通）		
5	「アンノウンスカウト」の逸話を調べ、適切な表現形式（劇・紙芝居など）で隊の仲間た他の人々に伝え、自分の「日々の善行」の実践のようすについて話す。	2022年8月9日	
6	班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実践する。	2022年8月9日	
7	自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウトズタウン・サービスに参加する。	2022年8月9日	
8	自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。	2022年8月9日	
9	B-Pのラストメッセージを読んで、班集会で話し合う。	2022年8月9日	

要件のすべてに合格したことを証明します。

_____年____月____日 隊長 _____ 印